

事業所における自己評価総括表 保育所等訪問支援

○事業所名	児童デイサービス ぐりっと南城		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 8日		令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 19日		令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 3月 8日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな専門的知識を有する職員が在籍している (保育士・看護師など)	お子様と家族のニーズや課題に応じて、訪問先の職員へ 具体的にわかりやすい内容で支援できるよう心がけている。 職員への情報共有も行っています。	今後も、訪問支援で感じた問題点や課題等を把握し 職員へ情報共有を行い、児童発達支援や放課後等デイ サービスの 事業にての支援に活かしていきたいです。
2	すぐに保護者へ情報を共有し、保護者との連携を図り 支援内容を検討していけるところ。	保護者へはLINEを使用して支援内容状況をすぐに共有したり、 訪問支援を行った職員が送迎などをし、送迎時にもお話をし て支援の方向性をすぐに検討することが出来ています。	引き続き保護者との連携を強化し、定期的な支援内容の 話し合いを する場を設けていきたいです。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学時以降の支援内容等の共有を行う機会が少ない (小学校の担任へ伝える機会がない)	半年に1回程度のモニタリングの機会にお互いの情報共有は 行えているが、こどもの育ちを考えると、もう少し短い スパンで 情報共有し関係機関で支援の方向を合わせる必要がある が、 各現場の状況で時間確保が難しい。	訪問支援なども活用し、情報共有できる機会を増や す。 保育園やこども園・学校等の保育参観・授業参観な どに参加してもいいか働きかける。
2			
3			